

据付工事説明書

自動風呂給湯電気温水器用



**リモコンを使用しないと電気温水器の
わき上げが行なえません。**

- リモコンは、三洋自動風呂給湯電気温水器専用です。

1 台所リモコン工事

付属品

木ねじ	Mねじ	オールプラグ	Y型端子
2個	2個	2個	2個

【お願い】

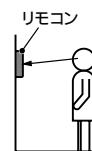
- リモコン本体を分解しないでください。
- リモコンケーブルは、三洋専用別売部品(品番:MHC-220またはMHC-250)を設置条件に合わせて切削してご使用ください。
- 操作説明ラベル(本体取扱説明書に同梱)を台所リモコンの近傍に貼り付けてください。
- リモコンを直接砂の上や鉄くずのある床の上に置かないでください。
スピーカー部(左上)に鉄粉等が付着し、音が出なくなります。

取付場所の選定

- 台所リモコンは必ず屋内の平らな面に取付けてください。(凹凸があると取付時に変形して誤動作することがあります。)
- 取付位置はスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ(目の位置より少し下側)を選んでください。
- 台所リモコンは防水タイプではありません。下記の場所には取り付けないでください。

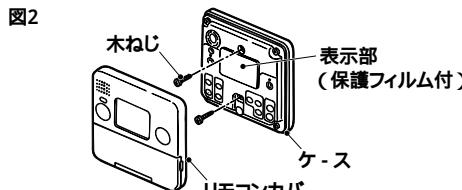
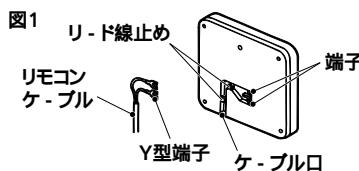
- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| ● ガステーブルの近くなど高温(50 以上)になるところ | ● 湯気や水しぶきや油のかかるところ |
| ● 浴室など湿気の多いところ | ● 幼児の手が届くところ |
| ● 直射日光のあたるところ | |

- リモコンケーブルの長さが50m以内になる場所としてください。



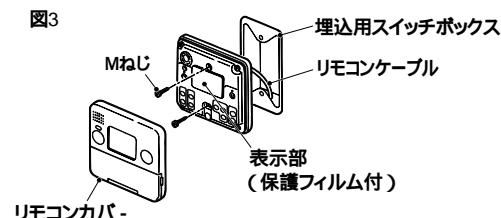
壁面に取り付ける場合(露出配線)

- 下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切欠く。 図1
- リモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して端子に接続し、リモコンケーブルをリード線止めに止める。 図1
参考 Y型端子用手動式圧着工具
● 日本圧着端子製造株式会社製 YHT-2210(JIS 9711規格品)
- 【お願い】● リモコンケーブルが短絡ないように施工してください。
- マイナスドライバーなどでリモコンカバーをケースからはずす。
- リモコンケースを木ねじ2本で壁に固定する。 図2
壁がコンクリートブロックなどの場合は、オールプラグ用穴(6mm、深さ約30mm、2箇所)をあけオールプラグを打ち込んでから木ねじ2本でリモコンケースを固定します。
- 【お願い】● リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
- 表示部の保護フィルムをはずす。
- リモコンカバーをケースにはめ、リモコンケーブルを壁に固定して配線する。 図2



リモコンケーブルを壁中に通す場合(埋込配線)

- リモコン取付け位置に埋込用スイッチボックス(1個用)を取付けておきます。
- リモコンケーブルを電線管に通し、温水器まで配線しておきます。
- 埋込用スイッチボックスから出ているリモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して、端子に接続する。 図1
【お願い】● リモコンケーブルが短絡ないように施工してください。
- マイナスドライバーなどでリモコンカバーをケースからはずす。
- リモコンケースをMねじ2本で埋込用スイッチボックスに固定する。 図3
【お願い】● リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
- 表示部の保護フィルムをはずす。
- リモコンカバーをケースにはめる。



- 【お願い】**
- リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。 図
 - リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。



2 浴室リモコン工事

付属品

木ねじ  4個	オールプラグ  2個	取付パイプ(太)  1個	取付パイプ(細)  1個	カバー  1個	パッキン  1個
--	---	---	---	---	---

パッキンは、リモコンに付いています。仮取付けできるよう両面テープになっています。

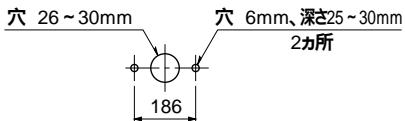
- 【お願い】
- ・リモコン本体を分解しないでください。
 - ・操作説明ラベル(本体取扱説明書に同梱)を浴室リモコンの近傍に貼付けてください。
 - ・リモコンを直接砂の上や鉄くずのある床の上に置かないでください。スピーカー部(左上)に鉄粉等が付着し、音が出なくなります。

取付場所の選定

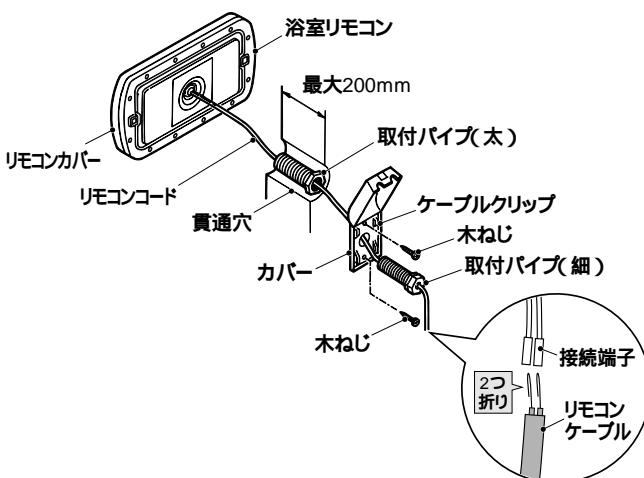
- ・浴室リモコンは必ず平らな面に取付けてください。(凹凸があると取付時に変形して誤動作することがあります。)
- ・取付位置は浴室内のスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところを選んでください。
- ・浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ湯や水がかかりにくい場所に取付けてください。
- ・リモコン線の長さが50m以内になる場所としてください。
- ・カバーは湿気の少ない場所に取付けてください。

コンクリート、タイルなどの壁に取付ける場合(壁貫通)

- ・壁厚200mmまで取付け可能です。
- ・壁に貫通穴(26 ~ 30mm) オールプラグ用穴(6mm、深さ約30mm、2カ所)をあけ、オールプラグを打ち込みます。

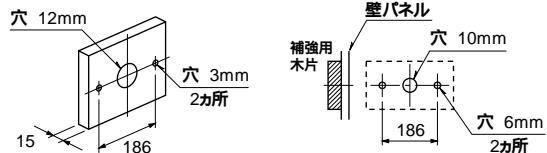


- (1)マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
- (2)取付パイプ(太)を壁の厚さに合わせてカットし、リモコンコードを通してリモコンにねじ込む。
- (3)木ねじでリモコンを壁に固定して、リモコンコードをカバー、取付パイプ(細)に通して、取付パイプ(細)をねじ込み、カバーを木ねじ2本で止める。
- 【お願い】・リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
- (4)リモコンケーブルの芯線を2つ折りにして、リモコンコード接続端子に圧着する。
引張強度 35.6N以上を圧着後に確認してください。
- 参考 接続端子用手動式圧着工具
・日本圧着端子製造株式会社製 YNT-2216
- 【お願い】・リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。
- (5)接続部がカバーの内側になるようにケーブルクリップにリモコンケーブルを巻付けてカバーのふたをする。
- (6)表示部の保護フィルムをはずす。
- (7)リモコンカバーを取付ける。



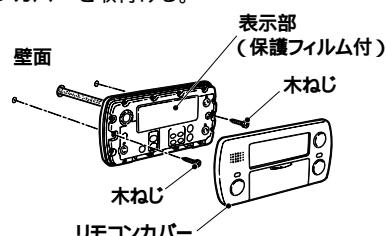
ユニットバスに取付ける場合(壁内配線)

- ・取付パイプ、カバー、オールプラグは使用しません。
- ・室内側からリモコンケーブルを通しておきます。
- ・壁にリモコンコード用穴(10mm)と、リモコン取付け用穴(6mm)をあけます。
- ・壁パネルに取付ける場合、裏側に補強用の木片を取付けます。(木片にリモコンコード用穴(12mm)とリモコン取付け用穴(3mm、2カ所)をあけます。)
- ・補強用の木片を接着剤などで壁裏面に付けます。
- ・木片は現地で用意してください。



補強用木片参考寸法図

- (1)マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
- (2)リモコンケーブルの芯線を2つ折りにして、リモコンコード接続端子に圧着し、必ず、木ねじ2本でリモコンを固定する。
引張強度 35.6N以上を圧着後に確認してください。
- 【お願い】・リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。
・リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
- (3)表示部の保護フィルムをはずす。
- (4)リモコンカバーを取付ける。



- 【お願い】
- ・リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。図
 - ・リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。



3 サブリモコン工事

付属品

木ねじ  2個	Mねじ  2個	オールプラグ  2個	Y型端子  2個	中継ケーブル  2本	ケーブル押え  1個	タッピングねじ  1個
--	--	---	---	---	---	--

【お願い】●リモコン本体を分解しないでください。

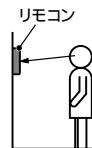
- リモコンケーブルは、三洋専用別売部品(品番:MHC-220またはMHC-250)を設置条件に合わせて切断してご使用ください。
- 本体に接続できるサブリモコンは1台です。
- サブリモコンの単一使用はできません。

取付場所の選定

- 台所リモコンは必ず屋内の平らな面に取付けてください。(凹凸があると取付時に変形して誤動作することがあります。)
- 取付位置はスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ(目の位置より少し下側)を選んでください。
- 台所リモコンは防水タイプではありません。下記の場所には取り付けないでください。

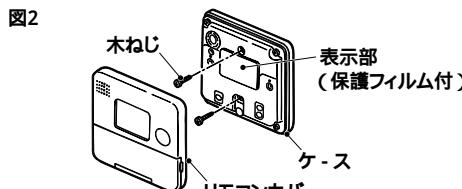
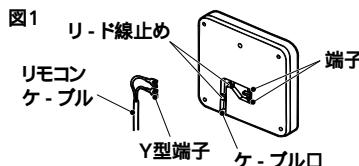
- ガステーブルの近くなど高温(50 以上)になるところ
- 湯気や水しぶきや油のかかるところ
- 浴室など湿気の多いところ
- 幼児の手が届くところ
- 直射日光のあたるところ

- リモコンケーブルの長さが50m以内になる場所としてください。



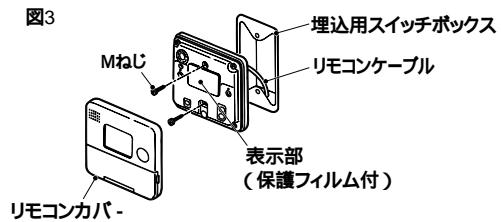
壁面に取り付ける場合(露出配線)

- (1)下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切欠く。 図1
- (2)リモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して端子に接続し、リモコンケーブルをリード線止めに止める。 図1
参考 Y型端子用手動式圧着工具
●日本庄着端子製造株式会社製 YHT-2210(JIS 9711規格品)
- 【お願い】●リモコンケーブルが短絡ないように施工してください。
- (3)マイナスドライバーなどでリモコンカバーをケースからはずす。
- (4)リモコンケースを木ねじ2本で壁に固定する。 図2
壁がコンクリートブロックなどの場合は、オールプラグ用穴(6mm、深さ約30mm、2箇所)をあけオールプラグを打ち込んでから木ねじ2本でリモコンケースを固定します。
- 【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
- (5)表示部の保護フィルムをはずす。
- (6)リモコンカバーをケースにはめ、リモコンケーブルを壁に固定して配線する。 図2



リモコンケーブルを壁中に通す場合(埋込配線)

- リモコン取付け位置に埋込用スイッチボックス(1個用)を取付けておきます。
 - リモコンケーブルを電線管に通し、温水器まで配線しておきます。
- (1)埋込用スイッチボックスから出ているリモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して、端子に接続する。 図1
【お願い】●リモコンケーブルが短絡ないように施工してください。
 - (2)マイナスドライバーなどでリモコンカバーをケースからはずす。
 - (3)リモコンケースをMねじ2本で埋込用スイッチボックスに固定する。 図3
【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
 - (4)表示部の保護フィルムをはずす。
 - (5)リモコンカバーをケースにはめる。



- 【お願い】
- リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。 図
 - リモコンケーブルが短絡しないように施工してください。



4 リモコンケーブルと温水器の接続工事

- 台所リモコン、浴室リモコン、サブリモコンの端子はどちらも無極性です。

サブリモコンを使用しない場合

- (1) 前面カバーを外す。
- (2) リモコンケーブル口から各リモコンケーブルを通し、リモコンケーブルの芯線をリモコンケーブル接続端子に圧着する。図1

引張強度 35.6N以上を圧着後に確認してください。

参考 接続端子用手動式圧着工具:日本圧着端子製造株式会社製 YNT-2216

- (3) ケーブル押えでリモコンケーブルを固定する。

【お願い】

- リモコンケーブルどうしの中継は誤動作の原因になりますので行わないでください。
- リモコンケーブルは電源ケーブルと離して(約5cm)配線してください。
近いとノイズによる誤動作の原因になります。
- リモコンケーブルは、引っ張っても端子に直接張力がかからないようにケーブル押えで確実に固定してください。
- 電源ケーブルとリモコンケーブルを同一パイプ内で配線しないでください。
リモコンが誤動作する場合があります。図2
- リモコンケーブルを温水器のリモコン接続ターミナルに接続するときは、200V電源ブレーカーの電源レバーを「切」にしてから接続してください。
- リモコンケーブルは、本体内部の横桿の内側を通してください。

図1

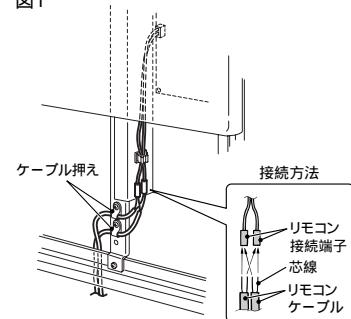
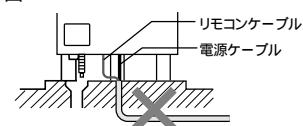


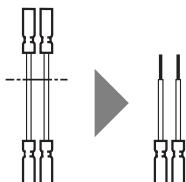
図2



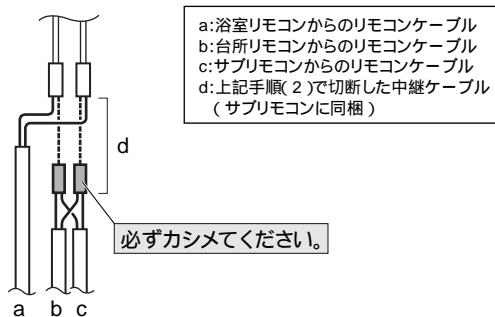
サブリモコンを使用する場合

サブリモコンを最初から使用する場合

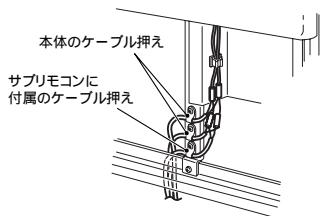
- (1) 前面カバーを外す。
- (2) サブリモコンに付属の中継ケーブルを途中で切断する。



- (3) 下図に従って接続する。

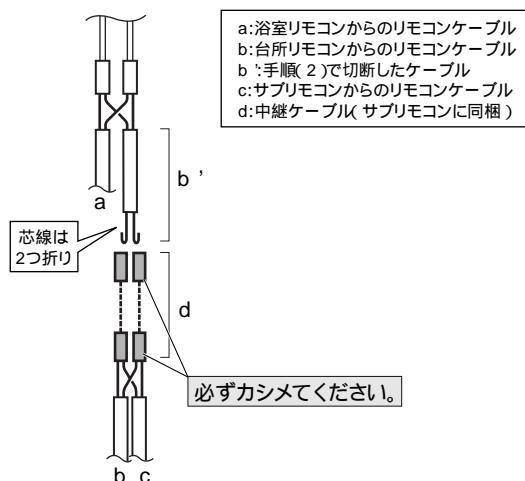


- (4) 本体のケーブル押えとサブリモコンに付属のケーブル押えでリモコンケーブルを固定する。



サブリモコンを後から使用する場合

- (1) 前面カバーを外す。
- (2) 接続されている台所リモコンのリモコンケーブルを途中で切断する。
- (3) 下図に従って接続する。



- (4) 本体のケーブル押えとサブリモコンに付属のケーブル押えでリモコンケーブルを固定する。

